



中学部 国語科 一題材の実践事例

題材名：『ファッションセンター』で、注文を聞き取り、商品を選んでそろえよう

授業者：吉野 滉平

学習指導要領の段階と内容

小学部 2段階
【聞くこと・話すこと】

知・技：ア(ア)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じる。

思・判・表：簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。

学 び：言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

題材目標

知・技

思・判・表

学 び

『ファッションセンター』で、注文を聞く時、聞き取る視点がわかり、聞き取った言葉のイラストをオーダーパネルの画面上で選び、聞き取った言葉に含まれる「模様」「色」「形」「物」「数」を含むの視点カードをイラストに対応させて置いたり、不足している視点について聞き返したりする

注文に応じて商品をそろえる時、聞き取った言葉の意味を考え、商品をそろえるために必要な視点を判断し、不足する視点について聞き返したり、注文を受けた商品を正しく選び取ったりする

注文を聞いて不足している視点について聞き返したり、商品を選んだりする課題に繰り返し正しく取り組む

教材と仕組み

教材名：『ファッションセンター』 **言葉の意味をイメージして**
オーダーパネルから商品を選ぶ

はながらのはんそでのシャツを1つください

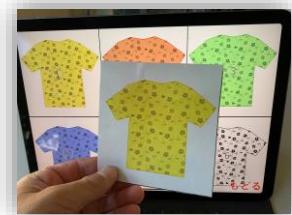
お客さんからの注文を聞く



視点カードに沿って注文内容を確認し不足する視点を聞き返したり、商品を選び取ったりする



商品カタログで **正誤判断**



注文の商品をそろえようと店員の評価が上がる

観点別評価

知・技	「花柄の半袖のシャツを1つください」などの注文を聞いて、イラストを選んで視点カードと対応させたり、「色は何ですか」などと不足している視点について聞き返したりすることができた。
思・判・表	注文を聞き取った後に、不足している視点について聞き返したり、注文の通りに行動したりして、正しい商品を選び取ることができた。
学 び	注文を聞いて不足している視点について聞き返したり、商品を選んだりする課題に繰り返し正しく取り組む姿が見られた

関連する授業づくりの手順



生きて働く知識及び技能を習得したり、活用できるようにしたりするための授業展開の工夫

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

時数	2		3 (本時)		4		5		三次		
知識・技能	に目を向け		がわかり		に目を向け		がわかり				
	「形」「色」「物」「数」		「形」「色」「物」「数」		「模様」「色」「形」「物」「数」		「模様」「色」「形」「物」「数」				
思考・判断・表現			不足する視点を聞き返す商品を選び取る				不足する視点を聞き返す商品を選び取る				

思考力・判断力・表現力等の活動の中で知識及び技能を身につける
※「①注文を聞く→②視点カードと対応させる→③商品を選び取る」の流れで1試行を行う

教材の仕組みを決定する

知識及び技能
聞き取る視点の種類や数の理解
評価場面：注文を聞き取る(展開場面)

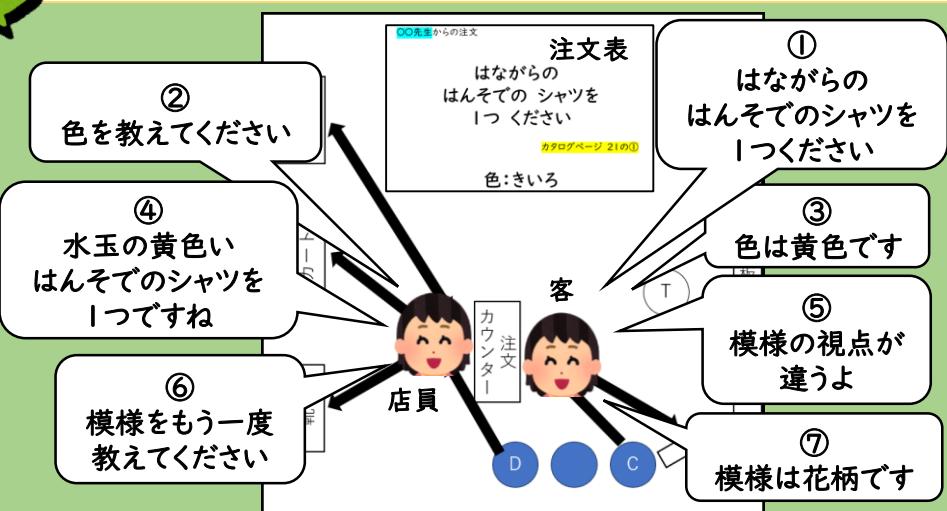
思考力・判断力・表現力等
聞き取った内容に基づいた行動の判断
評価場面：商品を選び取る(発展場面)

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

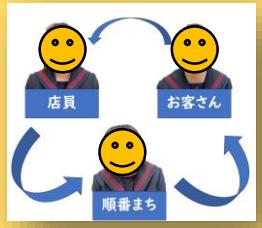
R研で毎時間の授業の評価・改善



生徒同士で対話的に学び合うための学習活動の工夫



客と店員をローテーション



聞く側も話す側も必要な視点を考えながら視点の種類や内容を確認め合う

メインは聞くこと! 聞き取りを丁寧に

考察

【成果】

○注文を正しく聞き取ったり、不足する視点について聞き返したりする姿が定着したことから、聞き取る視点をカードにして視覚化したことが有効であったと考える
→視点が不足する注文をするのは、必要な視点をもって注文を聞き取っているか確かめるため

【課題】

○教材や場面設定を日常生活場面に近づけすぎると生活単元学習のように...
→大切なのは**指導内容**
(ねらいを達成するために、**支援となる情報が多くならないように注意!**)

言葉の意味を考えてイメージできるために...
→聞き取った言葉と文字のマッチングにならないように商品名は掲示しない